

第9回やまぐち高校生県議会に

参加してきました!

下関•長門地域版

R5.11.13 開催





高校生県議会って?

次代を担う県内高校生に県議会の 役割や県行政への理解と関心と高 めてもらうため、平成27年度か ら実施されている模擬議会

【下関・長門地域の高校生議員の皆さん】

(下関西高等学校)

友重晴翔君 松永智成君

(下関中等教育学校)

波田ののかさん 市川希美さん

八代愛捷君

(早鞆高等学校)

岩坂望来さん 山下若子さん

(下関短期大学付属高等学校)

佐藤七海さん 山田彩寧さん

議長開会宣言



高校生議員の自己紹介



高校生議員からの質問及び執行部答弁

県内大学における教員養成学部の設置を進めることで、 山口県の公教育に必要な人材を地元で育成・採用する体制を作ることができれば、山口県の人口定着にもつながることが期待できます。

そこで、県内の公立大学に教員養成学部を新設するとと もに、県内の大学を卒業した人を採用する特別枠を設ける ことについて、どのように考えているのかお伺いします。





本県教育の担い手である優れた人材の安定的な確保に向け、教員養成や教員採用の仕組みを強化することは、大変重要であると考えています。

まず、御提案の大学と連携した教員養成に関しては、現在、山口県内の全ての4年制大学に教員養成系学部や教職課程があり、県教育委員会では、これらの大学や市町教育委員会の代表等で構成される教員養成等検討協議会を設置しており、この協議会を活用し、大学における授業内容の充実など、優れた教員人材を地元で養成する方策の強化に向けて、継続的に議論してまいります。

また、教員採用に関しては、来年度の実施に向けて、試験の一部を早期に受けられる大学3、4年生向け事前テストや、大学推薦による特別選考を新たに導入することとしており、今後も地元大学に意見を聞きながら、お示しの特別枠のような、山口県教育への熱意ある人材を安定的に確保する仕組みづくりに取り組んでいきたいと考えています。

県教委では、これからも、教員の力が最大限発揮できる環境づくりにしっかりと 取り組むとともに、「高校生のための教職セミナー」などを通して、高校生段階から 教職の魅力を感じられるよう情報発信を積極的に行い、優れた人材の確保に努 めてまいります。 校)が、下関・長門地域を代表して質問をしました-松永議員(下関西高)と波田議員(下関中等教育学

私は、ヘイトを未然に防止するための特効薬は「実際に触れ あって、理解し合うこと」だと考えています。

県として、国際交流を今後どのように一層進展させていくか、 特に価値観の形成段階にある小・中・高校生を対象とした国際 的な文化交流について、双方に利益のある形でどのように進め ていくのか、お考えをお聞かせいただけませんでしょうか。





へイト行為は、人としての尊厳を損なうものであり、また、多くの人々に不安感や嫌悪感を与えるもので、決して許されるものではなく、未然に防止するためには、「実際に触れ合って、理解し合う」ための国際的な文化交流を若いうちに体験することが有効だと思います。

このため、県では、若者同士の交流を深め、相互理解が進むよう、様々な取組を実施しています。

具体的には、中国や韓国、アメリカ等から来た国際交流員が、小・中学校、高校等に出向いて、自国の文化や魅力等を紹介する講座などを開催し、若い世代の皆さんが異なる文化や生活習慣を学べるよう取り組んだり、山口県と中国・山東省及び韓国・慶尚南道の学生たちが、各国の武道や茶道等を紹介し、伝統文化に実際に触れることで、相互理解を深めています。

本年1月には、本県から中学生・高校生約140人がハワイ州を訪問し、同州の高校生とフラダンスや合唱などを通じた交流事業を実施したところであり、現地高校生との意見交換やハワイの文化等の体験を通じて、お互いの文化や価値観を理解し合う貴重な機会を得られたものと考えています。

私は、今後とも、友好協定等に基づく海外自治体との交流を推進するとともに、若い世代、特に小・中・高校生の皆さんの異文化への理解が一層進むよう、積極的に取り組んでまいります。

第9回やまぐち高校生県議会で可決された意見書

「選挙活性化に向けた政治への興味を高めるための質問箱の設置を求める意見書」 政治や行政に興味を持つきっかけをつくるため、そして、山口県の選挙投票率を上げるために、誰でも気 軽に質問できる質問箱の設置を求める意見書を高校生議員47名全員の賛成で可決しました。

(代表提案者:宇部鴻城高等学校 野村 楓さん)





と 員で起立採決

決意表明

高校生議員を代表して、 「山口県民の一員として持続 可能な未来社会の創出に貢献し、 『安心で希望に満ちた山口県』の 実現のために、積極的に尽力し 続ける。」と決意表明しました。



(決意表明者:高水高等学校 天野 琥珀君)

記念撮影

